金沢衛生管理者研究会第 126 回研修会報告

第 126 回研修会「衛生管理者の実務（健康管理と衛生管理者の役割)」が４月２０日（木）に石川県地場産業振興センター新館１３研修室で午後 1 時 30 分から開催されました。オンラインを併用し、会場 12 名、オンライン 15 名の計 27 名が参加しました。

①　「衛生管理者の実務（健康管理と衛生管理者の役割)」

石川産業保健総合支援センター労働衛生専門職の上原浩氏による講義が次の内容で午後 2 時 30 分まで 1 時間行われました。

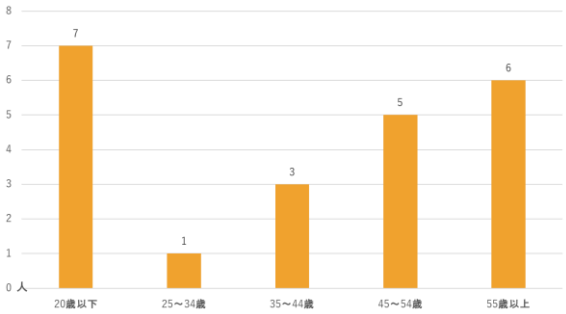
1. 健康管理　　①労働衛生の 5 管理
2. 衛生管理者の役割　　①衛生管理者の業務
   ②衛生管理者（衛生推進者）業務における３ポイントについて
   - ●健康診断（一般健康診断）について
   - ●長時間労働者への医師の面接指導と取組
   - ●職場巡視　●（安全）衛生委員会　●教育・訓練等
3. 最近の法改正の動向について
   ①歯科特殊健康診断と結果報告　②化学物質による健康障害防止対策
   ③一人親方等の安全衛生対策について　④騒音障害のためのガイドライン見直しの動向
4. 石川産業保健総合支援センターの業務紹介

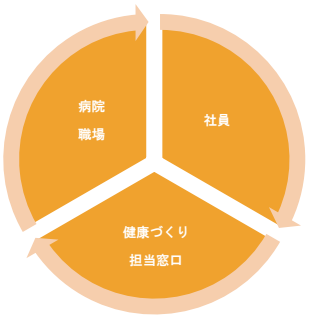
②　「わが社の健康経営実践～自社だけでも取り組める健康経営～」

午後 2 時 30 分からと題して、北九州市の異島電設株式会社総務部係長の飛松三紗子氏から健康経営実践の事例発表がありました。飛松三紗子氏は、昨年 10 月に福岡市で開催された第 81 回全国産業安全衛生大会におけるメンタルヘルス･健康づくり･健康経営分科会で登壇･発表されました。従業員の健康増進に“情熱”を持って当たられ、成果を上げる共に健康経営優良法人認定も取得されています。その地道な取組についてご紹介頂きました。

わが社の健康経営実践

自社だけでも取り組める健康経営
会社概要、背景、具体的な取り組み
効果と実績、目指す将来
会社概要
社名：異島電設株式会社
設立：昭和 60 年 7 月
資本金：2,000 万円
業種：電気工事業　従業員数　25 名
経営理念　　真心と奉仕の精神で、お客様の満足と信頼を第一に
背景：現場作業員の高齢化、社員の年齢層のばらつき、新規採用に苦戦

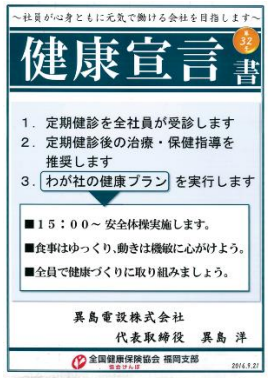




具体的な取り組み：「健康づくり担当窓口」設置、健康宣言書作成、社員の感染予防対策、

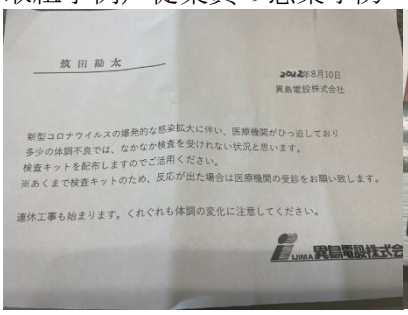
健康経営優良法人の認定を目指す。認定基準の評価項目を強化、担当を選任し意見交換会の取りまとめ制度の見直しを行った。

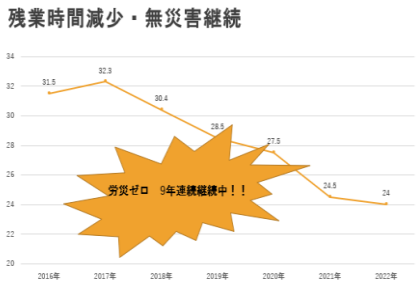
取組事例）季節の健康情報提供



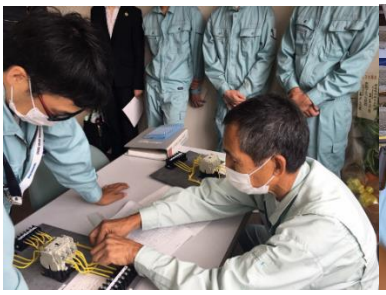
取組事例）コミュニケーション促進・運動機会の提供

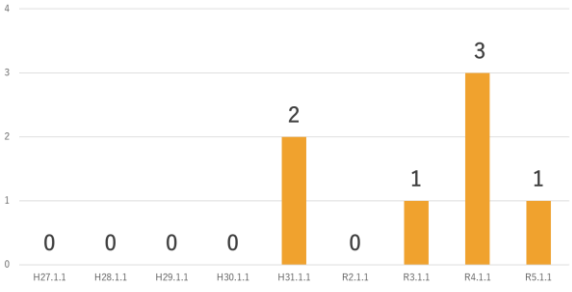
取組事例）従業員の感染予防





効果と実績：残業時間の減少、労災ゼロ継続、若手社員への教育時間の確保、新卒社員の確保

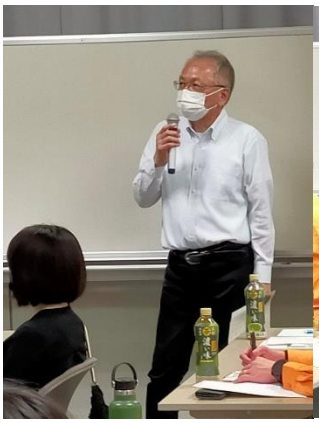




目指す将来：
地域に根ざした企業を目指し
健康で明るく、長期的に若手社員へ
技術の継承を長期的に行う

③　気づき交流「事例を聴いて自社での取り組みに活かせること」

午後３時から、オンライン参加者も交え、「事例を聴いて自社での取り組みに活かせること」について意見交換を行う気づき交流が実施されました。

それぞれのグループで自社の課題とそれに対する具体的対策について次のような説明がありました。

Q1 自社の課題	Q2 具体的対策
① 社員の長時間労働による心身にわたる健康リスクの低減 ② 喫煙率の低下 ③ 健康診断後の事後措置	①　時間外 45 時間超過した社員全員に問診票　提出を依頼、産業医面談および保健師面談を毎月実施。必要であればフォロー継続。また、若手社員に対して保健師面談を実施し個別に健康面をフォロー。 ② 世界禁煙デーに合わせて禁煙に関する情報を発信。禁煙の意思がある社員の禁煙サポートを実施したいが、待っているだけでは喫煙率の低下までつながっていない。 ③ 要精密検査や要再検査となった社員へ産業医および保健師よりフォローをしているが追いついていない。
① 健康診断結果における、健康指導対象者が増えはしていないが、減ることもないため、今後はいかにその数を減らすよう取り組みたい ② 特殊健康診断の対象者の確認を急務としているが、有機溶剤の専門知識が乏しく、その対応に苦戦している。	①　指導員、産業医、会社と指導対象者がもう少し入り込んだ話し合いの場を設け、今よりも意識して改善を目指すような指導を行いたい。 ②　専門的知識を有する資格者に指導を仰ぎ、社内の有機溶剤の洗い出しを徹底、衛生管理者の知識・経験の向上を図り、対処していきたい。
① 忙しい中で、生産優先になっている ② 安全活動に充てる時間は、できる範囲でのお願いになっている	①　目の前にある現場の課題に対して、答えるよう対応しているが本当は部署ごとで対応できるようにしていきたい
① 仕事が忙しいかたに限って、要検査の方がいて、再検査でも忙しいからというと受けない人がいて、こういう人への健康観察が課題となっている	① 掲示物等でいかに放置することが危険かを周知している
① 高年齢化に伴う有所見率の増加 ② 長時間労働にならないような残業時間の管理	① 再検査時の受診費用の助成 ② 勤怠管理ソフトを導入し勤務時間の把握を行い経営者も労働時間の把握が出来るようにした。
① 人手不足で新規若手採用が困難な情勢にあります。 ② 高齢化に伴い、若い世代とのギャップが顕著化、高齢者は、何かしらの持病をお持ちの方があり欠勤で業務に支障が出てくる場合が多くなっています。 ③ 衛生上の課題として食品衛生管理が重要です。	① 巡回指導に重点を置く ② 従業員とのコミュニケーションをできるだけ作っていく。年３回は個人面談を行っている評価制度を進めている。